

地球を救う!?

増やせ、水中の森

～ブルーカーボンと世界初の淡水カーボン～

海の豊かさを取り戻し、地球温暖化対策として注目を集めているブルーカーボン*。

神戸市ではブルーカーボンに加えて、

大学等と協力して池や湖で貯留される炭素「淡水カーボン」の研究にも取り組んでいます。

ブルーカーボンや淡水カーボンについて広く知っていただくために、

有識者を招いたシンポジウムを開催します。

※海洋の生態系(海藻・海草など)によって貯留される炭素

2025. **3.11**
13:30 ~ 16:00

中央区文化センター
〒650-0031 神戸市中央区東町115番地10階
会議室1001・1002

参加無料
要事前申し込み

※お申込受付は先着順とし
定員になり次第、締め切ります。

申込期限

3月10日(月)13:00まで お申し込みはこちらから



当日は
オンライン配信も予定

上記二次元コードから事前申し込みが必要です。

※録画は禁止ですのであらかじめご了承ください。
※イベント終了後のアーカイブ配信は行いません。

主催：神戸市

プログラム

- 13:30～ 開会あいさつ(5分)
- 13:35～ **ブルーカーボンの現況と未来**
ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事
神戸大学 客員教授 信時 正人
- 14:00～ **世界初の研究**
「淡水カーボン
～淡水域における二酸化炭素の吸収・貯留～」
神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授 中山 恵介
- 14:25～ **ブルーカーボン研究とその課題**
静岡大学理学部地球科学科 講師 久保 篤史
- 14:50～ **ため池管理の状況と課題から見た淡水カーボン**
九州大学大学院比較社会文化研究院 准教授 渡部 哲史
- 休憩(5分)
- 15:20～ **パネルディスカッション**
- 16:00～ 閉会